

## 1. 投稿原稿全体

- 表紙，邦文要旨，本文を独立したページにする。
- ページ番号を原稿の下に最初のページから通し番号を付けている。
- 英文タイトルを付けている。
- 英文氏名を付けている。
- 英文所属を付けている。
- 学名は，要旨と本文は別のものとして，最初に書くときは，属名と種形容名の両方を正式に記載している。また，その後の記載は，属名の頭文字のみを残し，種形容名を略していない。

例：初回 *Escherichia coli*, 2 回目以降 *E. coli*

- 学名はイタリック体にするか，アンダーラインを付けている。
- 数字と数量（単位）は投稿規程に従っている。
- 試験試薬およびキット類について登録商品名を記載する場合は，商品名のあとにカッコ内に会社名を明記し，<sup>®</sup>あるいは™ は使用していない。

例：〇〇キット（会社名）

- 略号が認められていない薬品名は，正式名称にしている。  
例：SDS → sodium lauryl sulfate または sodium dodecyl sulfate
- 本誌で最初から省略してもよい言葉は，略号にしている。

## 2. 邦文要旨

- 文字数は投稿規程に合っている。
- 投稿論文の特徴がわかるよう（掲載に値することがわかるよう），記述してある。

## 3. 英文抄録

- 文字数は投稿規程に合っている。
- 改行を入れず，1 パラグラフになっている。
- 英語表現は，英文誌を参考に作成され，英語の堪能な人に英語の添削をしてもらっている。

## 4. 材料と方法 または 症例

- 採取期間，採取方法，採取病院などが記載されている。
- キット，薬品などの発売元か製造元が記載されている。
- 他の人が追試験できるよう，方法が詳細に記述されている。
- インフォームド・コンセントを取って施行した研究であることが記述してある。

## 5. 結果

- 図表が適切に使用され，結果が詳細に，わかりやすく記述してある。
- 本文中に，表や図の成績の単純な繰り返しの記載はない。
- 図表のタイトルは適切であり，わかりやすく作成されている。

- 表は、英文誌のように、縦線なしで作成してある。
- 写真は、結果が判読しやすいものになっている。

#### 6. 考 察

- 結果と考察が矛盾していない。
- 結果を単純に書き直しただけの重複箇所はない。

#### 7. 引用文献

- 投稿規程に沿って記載されている。
- 文献の引用数（20 編が目安）は適切である。
- 番号の重複はない。
- 番号は図表中の文献も含め、引用順に付けられている。
- 要旨に文献を付けていない。